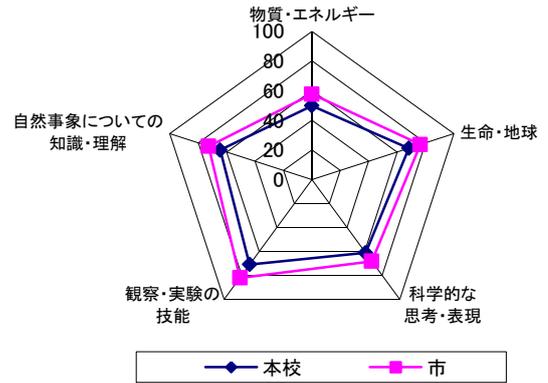


# 宇都宮市立上河内東小学校 第5学年【理科】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	物質・エネルギー	49.8	57.6
	生命・地球	68.3	76.3
観点別	科学的な思考・表現	61.1	68.1
	観察・実験の技能	70.9	82.0
	自然事象についての知識・理解	64.5	72.7



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>・平均正答率は、49.8%と市の平均を7.8ポイント下回った。4年生の問題の正答率が低かった。特に、水と金属のあたたまり方と熱い湯が吹き出すのを防ぐ「沸騰石」の役割について、正確に理解していない状況が見られた。</p>	<p>・実験の方法や準備物・器具の名前など、細かいところまで覚えるように指導する。また、実験を行うときには、自ら予想を立てさせた後に取り組ませ、結果から考察への過程を一人ひとりがノートに記録するように指導を行っていく。</p>
生命・地球	<p>平均正答率は、68.3%と市の平均を8ポイント下回った。児童間の正答率の差が大きい。川原のでき方や下流の石の特徴を流れの速さと関連付けて考えてない状況が見える。一方で、雲の状態から台風の進路を読み取る問題は、市と全国の正答率を上回った。</p>	<p>・機会があれば雲を観察させたり、川を観察させたりしながら説明をして、内容を補足説明する。また、デジタル教材を利用して詳しい内容をもう一度再確認させる。さらに、日常生活と結び付けて考察させていくことにより、筋道を立てて考えていけるように働きかけていく。</p>